

日本共産党
高槻市会議員 **宮本雄一郎**

つうしん

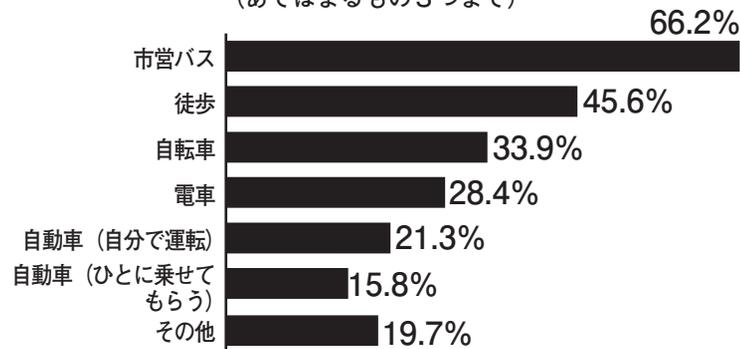
発行：日本共産党高槻市議員団 宮本雄一郎
連絡先：議員団控室電話 072-674-7230
事務所：高槻市氷室町1丁目25-6
TEL 072-692-2758 FAX 072-695-1900



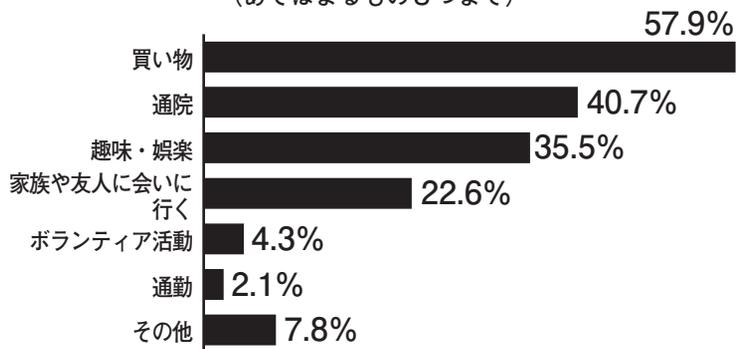
市営バス・敬老パスアンケート結果示される

外出、健康増進、社会参加などの効果が

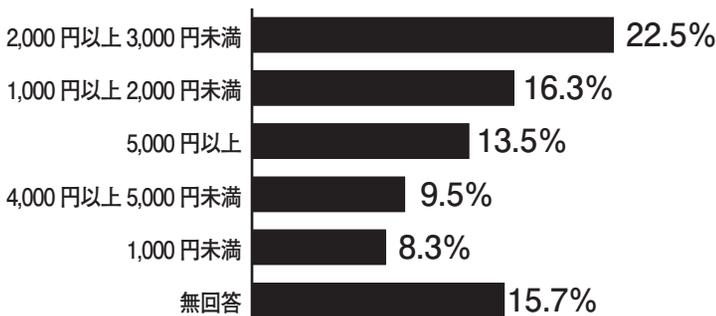
外出する際の移動手段はなんですか？
(あてはまるもの3つまで)



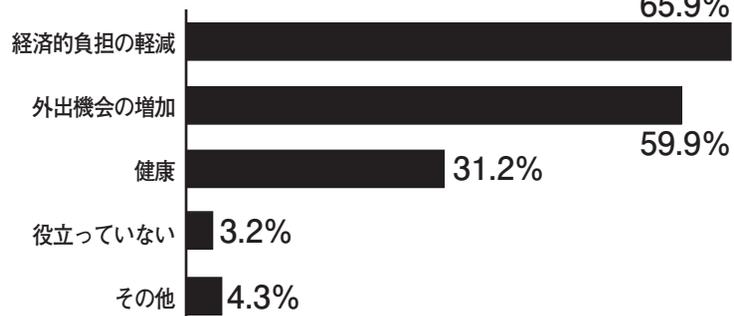
市営バスをどのような目的で利用されますか？
(あてはまるもの3つまで)



市営バスで外出した時、どのくらいのお金を使いますか
(一回当たり平均・医療費を含む)



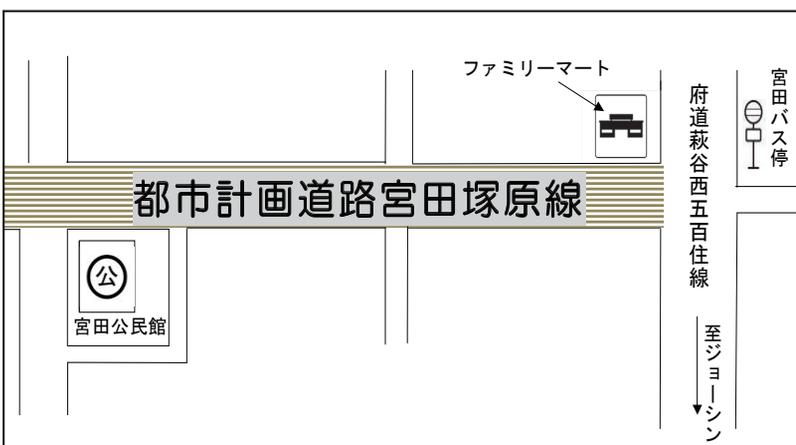
市バス敬老パスがあって役立つことは何ですか？
(あてはまるものすべて)



市は、このほど、社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会に、市営バス、市バス敬老パスについてのアンケート調査(70歳以上)の結果(速報)を発表しました。共産党は一昨年の議会でも、敬老パスの効果を調査することを求めていました。

私は、市バスと敬老パスの役割について、3月29日の市議会で、「駅前病院などと郊外の住宅地をつなぐ重要な役割を果たしているのではないかと質問。市は「市営バスの交通ネットワークは欠かさない」「敬老パスは高齢者の外出支援に一定の役割を果たしている」と答弁しました。高齢者福祉専門分科会では「介護予防などの一定の効果がある」と認識している」と述べています。

市営バスと敬老パスが、高齢者の外出を支援し、健康保持や趣味などの社会参加に役だっていることがわかります。また、買い物による消費で、商店の活性化にもつながっています。



ことが十分考えられる。仮に、計画を廃止したとしても、最大限、住民の要望に応えるべきではないかと質問。市は「地元から要望があった場合は、現在の道路状況を勘案し、適切に対応していく」と答弁しました。

市は、2012年から行っていた市内の都市計画道路の見直しについて、「最終見直し案」を決定しました。

都市計画道路は自動車の交通量が増えている時代に、自動車中心の都市づくりを前提に計画されたものがほとんどです。現在は、自動車交通量が減り、見直し求められています。

一方、高齢化が進み、歩道を設置する必要性が高まっています。「見直し案」において、都市計画道路「宮田塚原線」の一部(宮田町2丁目区間)を廃止する提案がされています。私は「宮田塚原線は、宮田町内の区間で歩道がないところが多岐に残されている。引き続き地元から歩道設置の要望が出されることが十分考えられる。仮に、計画を廃止したとしても、最大限、住民の要望に応えるべきではないかと質問。市は「地元から要望があった場合は、現在の道路状況を勘案し、適切に対応していく」と答弁しました。

宮田塚原線(宮田町)に歩道の設置を

JR京都線高架化の研究について

市は昨年、JR京都線の芥川鉄橋以西から総持寺新駅（茨木市）までの線路の高架化について、勉強会を実施しています。新年度、専門業者に委託し、さらに検討を深めるとしています。

認められない」と主張しました。そもそも芥川の危険

解消も富田府道ガード下の安全も大阪府が責任を負っている事業です。芥川については、大阪府が、新年度から危険を解消する事業の

検討を進めることを宮原たけし府議に答弁しています。（3月18日大阪府議会都市住宅常任委員会）。

莫大な事業費と市負担が

市はJR富田西側の狭隘なガード下府道、芥川鉄橋下の洪水危険箇所解決、などの効果あげています。しかし、大阪府は、勉強会にオブザーバー参加で、費用負担を明言していません。高架化事業の市の負担は、大阪府の負担がなければ数百億円にのぼる見込みです。

後40年間で4700億円が必要と試算しています。高架化で莫大な費用を支出する

と、その財源が安定的に確保できなくなる可能性があります。私は3月15日の都市環境委員会「今後の財政見通しを考えると、到底

私は富田ガード下などは「費用のかからない手法の検討も含めて、府に迫るべき」と

求めました。市長は「高架化については）実現可能性を多角的に検討し、財政の問題な

ど様々な課題を、議会で見聞交換していきたい」と表明しました。

市長「実現可能性を、多角的に検討したい」

国がねらう要支援者の介護保険は、必ずしも

国は、介護度が要支援1・2の人の訪問介護と通所介護を介護保険からはずし、市町村任せの「介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業）」に丸投げしようとしています。

にするのが介護予防にもつながります。先行して「総合事業」を実施している自治体では、介護事業所への報酬単価のカットやサービスタメの短縮などの被害がすでに起こっています。

市独自の制度・基準で サービスの保障を

日本共産党は、3月7日の代表質問で、要支援の高齢者が、現在のサービスを受けられるように、市独自の基準や制度が必要ではないかと質問。市長は、「厚生労働省は、現行のサービス提供も可能

認知症などの早期発見・治療に逆行

市は昨年策定した「公共施設等総合管理計画」で、市民にとって欠かせない、クリーンセンター・市民会館の建てかえ、市役所本館の耐震化、道路や下水道の更新などに、今

「総合事業」ではサービス提供事業者に、訪問介護事業者だけでなく、NPOやボランティアがあげられてい

ます。認知症や状態悪化の発見・治療が遅れる可能性があります。必要な人に必要なサービスが受けられるよう

日本共産党は、3月7日の代表質問で、要支援の高齢者が、現在のサービスを受けられるように、市独自の基準や制度が必要ではないかと質問。市長は、「厚生労働省は、現行のサービス提供も可能

としていることから、高齢者の状態に応じたサービス提供を行っていく」と答弁しました。

とする

高槻市議会ホームページで議案や各党派・議員の賛否がご覧いただけます。
高槻市議会 検索

宮本雄一郎 ～市政相談会～
とき 毎月第3土曜日 午後2時～4時
ところ 氷室町1丁目25-6 ☎072-695-1900
この日以外でもお気軽にご相談ください

